

2026年度 和泉短期大学 シラバス【専攻科】				
授業科目名	医療的ケア I		教員氏名	中野 志津江
科目ナンバー	Ⅲ-6-3-1			
学年	専攻科		開講学期	前期
授業形態	講義		単位数	4単位(60時間)実時間(50.75時間)
必修・選択	専攻科		実務経験	看護師 8年
授業の目的	医療職との連携のもとに、医療的ケアを安全・適切に行うための知識を修得する			
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。			○ ○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教の精神を踏まえて、人々の権利を護り共に生きる人としての価値観を養うための科目		
	科目群Ⅱ 原理	多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕を実践する人間観を養うことができる科目		
	科目群Ⅲ 知識・技能	高齢者・障がいのある人を取り巻く環境を知り、様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につけることができる科目		○
	科目群Ⅳ 実践	身につけた価値観・知識・技能を現場に即して実践し、共に成長する体験を積み重ねる中で学び直し、キャリア形成の基礎を培うことができる科目		
授業の概要	2011年社会福祉士及び介護福祉士法の改正により医療的ケアが介護福祉士の定義に定められた。専攻科の科目では基礎研修を実施している。医療的ケアの法的根拠や、医師の指示のもとに行われる行為とは何かを理解し、喀痰吸引や経管栄養を安全に提供するための知識を学び、医療的ケアⅡの実践につなげる知識と技術を習得する。看護師としての臨床経験から、根拠を踏まえ、医療的ケアの手順を正しく学習し、利用者の変化に気づく観察の大切さを学び、実践に繋げられるよう工夫し、理解する。また、実践したことを医療職への報告・連絡・相談の方法を学び、実践者が記録する内容と観察の視点が合致することの重要性を理解する。国家試験対策を踏まえ、確認問題を行い、理解する。			
授業の到達目標	①医療的ケアの法的根拠(介護保険法・障害者総合支援法)や地域支援事業を説明できる。 ②喀痰吸引・経管栄養を必要とする利用者の特徴を述べるができる。 ③医療的ケアを受ける利用者の気持ちを述べるができる。 ④医療的ケアを安全に行うための確実な手技を習得することを述べるができる。 ⑤医療的ケアの手順と介護現場における感染対策と感染管理、予防について述べるができる。 ⑥バイタルサイン等健康状態の観察の視点を述べるができる。 ⑦医療職への連絡・報告・記録の方法を説明できる。			
テキスト	「15 医療的ケア」介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規			
参考書	なし			
往還型授業(双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする			○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する			○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める			
	ICT(-googleクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する			
その他: コマシラバスの活用・ワーク課題				
成績評価方法	区分	割合(%)	内容	
	定期試験・筆記試験	60	まとめテスト60%	
	授業内課題・発表等	20	ワーク11 課題 20%	
	参加度・学習態度等	20	学習態度・参加度20%	
その他				
再試験	行う	行なわない場合の理由		

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	医療的ケアを学ぶ意義	
	授業外学習	<復習>医療的ケアの課題に取り組む	210分
第2回	テーマ 内容	介護職の専門的役割と医療的ケア	
	授業外学習	<復習>介護福祉士などの喀痰吸引を行うことに関わる制度の課題に取り組む	210分
第3回	テーマ 内容	保健医療制度、医療的行為と医療行為の違い	
	授業外学習	<復習>保健医療制度の課題に取り組む	210分
第4回	テーマ 内容	安全な療養生活 リスクマネジメント(ヒヤリハット・アクシデント)	
	授業外学習	<復習>安全な療養生活の課題に取り組む	210分
第5回	テーマ 内容	清潔保持と感染予防 滅菌と消毒について	
	授業外学習	<復習>滅菌と消毒の課題に取り組む	210分
第6回	テーマ 内容	標準予防策の意義と対応	
	授業外学習	<復習>標準予防策の意義と対応の課題に取り組む	210分
第7回	テーマ 内容	バイタルサインを含む健康状態の観察の視点	
	授業外学習	<予習>バイタルサインを含む健康状態の観察の課題に取り組む	210分
第8回	テーマ 内容	呼吸のしくみと働き	
	授業外学習	<復習>呼吸のしくみや働きの課題に取り組む	210分
第9回	テーマ 内容	異常な呼吸状態や、呼吸器疾患について	
	授業外学習	<復習>異常な呼吸状態の課題に取り組む	210分

第10回	テーマ 内容	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引の仕組み	
	授業外学習	<復習> 喀痰吸引の清潔操作の課題に取り組む	210分
第11回	テーマ 内容	喀痰吸引で用いる器具・器材	
	授業外学習	<復習> 喀痰吸引の実施の課題に取り組む	210分
第12回	テーマ 内容	喀痰吸引の実施上の留意点	
	授業外学習	<復習> 喀痰吸引の実施上の留意点の課題に取り組む	210分
第13回	テーマ 内容	人工呼吸器装着のしくみ	
	授業外学習	<復習> 人工呼吸療法の課題に取り組む	210分
第14回	テーマ 内容	吸引を受ける利用者(子どもを含む)や家族の気持ち	
	授業外学習	<復習> 吸引を受ける利用者(子どもを含む)や家族の気持ちの課題に取り組む	210分
第15回	テーマ 内容	呼吸器系の感染と予防	
	授業外学習	<復習> 呼吸器系の感染の課題に取り組む	210分
第16回	テーマ 内容	喀痰吸引の実施手順について理解する。喀痰吸引の安全確認 喀痰吸引の記録・報告	
	授業外学習	<復習> 吸引後の利用者の身体変化と医療職への報告と記録をまとめる	210分
第17回	テーマ 内容	経管栄養の基礎的知識	
	授業外学習	<復習> 経管栄養の基礎的知識の課題に取り組む	210分
第18回	テーマ 内容	消化器系器官のしくみ 経管栄養が必要な状態について	
	授業外学習	<復習> 消化器系器官のしくみの課題に取り組む	210分

第19回	テーマ 内容	高齢者及び障害児・者の経管栄養と仕組み 障がい児の食事の支援(DVD)	
	授業外学習	<復習> 経管栄養の清潔操作の課題に取り組む	210分
第20回	テーマ 内容	経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ	
	授業外学習	<予習> 経管栄養で用いる器具・器材をまとめる	210分
第21回	テーマ 内容	経管栄養に関する感染と予防	
	授業外学習	<復習> 経管栄養に関する感染と予防の課題に取り組む	210分
第22回	テーマ 内容	経管栄養を受ける利用者の気持ちと家族の気持ちへの対応 医療的ケア児の理解と支援(DVD)	
	授業外学習	<復習> 利用者や家族の気持ちの課題に取り組む	210分
第23回	テーマ 内容	経管栄養前の利用者への準備について 経管栄養により生じる危険と安全	
	授業外学習	<復習> 経管栄養に危険と対応の課題に取り組む	210分
第24回	テーマ 内容	経管栄養の栄養剤について	
	授業外学習	<復習> 経管栄養の栄養剤の課題に取り組む	210分
第25回	テーマ 内容	喀痰吸引の実施手順 喀痰吸引の急変・事故発生時の対応と異常への対応 報告・記録	
	授業外学習	<復習> 吸引の急変・事故発生への対応の課題に取り組む	210分
第26回	テーマ 内容	経管栄養の急変・事故発生時の対応と異常への対応 報告・記録を理解する。	
	授業外学習	<復習> 経管栄養の急変・事故発生への対応の課題に取り組む	210分
第27回	テーマ 内容	喀痰吸引の器具・器材等の消毒方法や、経管栄養の器具・器材等の消毒方法	
	授業外学習	<復習> 喀痰吸引の器材等の消毒方法をまとめる	210分

第28回	テーマ 内容	まとめ（学習した内容のポイントを確認し、疑問点の確認）	
	授業外学習	<復習> 授業内で学習したコマシラバスや、ノートをまとめて綴じる	210分
第29回	テーマ 内容	救急蘇生法の指針・JRCガイドライン等の知識や救急蘇生法の手順 実技準備	
	授業外学習	<予習> 授業の疑問点を見出し質問できる準備をする。 <復習> 救急蘇生法の知識の課題に取り組む。	210分

課題に対するフィードバックの方法

医療的ケアⅡの演習に向けて、知識を理解するとともに、授業毎にコマシラバスを活用し、課題に取り組み